

## 令和6年度卒業時アンケート 【歯科衛生学科】

実施日	令和7年3月3日(月)
所属	歯科衛生学科 3年次 61/63名(回答率 96.8%)

### 【全体概要】

令和6年度卒業時アンケートは、歯科衛生学科3年次生を対象に、卒業時点での自己評価や教育満足度を把握することを目的として実施された。回答者数は61名で、回答率は96.8%と高く、有効な調査結果が得られた。

1. 15種類のジェネリックスキルについて、2020年度から2024年度までの5年間にわたる平均値の推移を分析した。

1) 短大生活で身についた能力

「親和力」「協働力」「感情制御力」「行動持続力」「専門知識」「専門技術・技能」などにおいて、有意な向上が認められ、短大生活を通じてこれらのスキルが育まれていることが示された。

2) 不足していると感じる能力

自己評価における不足感については、いずれのスキルも有意な増減は見られなかったが、項目ごとの自覚的な差異が示された。

3) 短大で強化・充実を求める能力

「課題発見力」「計画立案力」「実践力」「言語的処理力」「論理的思考力」「専門技術・技能」に対し、強化・充実を求める声が有意に増加しており、専門職業人としての実践的能力への関心が高いことがうかがえる。

2. 本学での教育全般の満足度

「専門的知識・技術の習得」「人間性や教養の涵養」「接遇」「コミュニケーション能力の向上」などに対して、平均的に3.1~4.0の評価が得られ、概ね満足している結果となった。

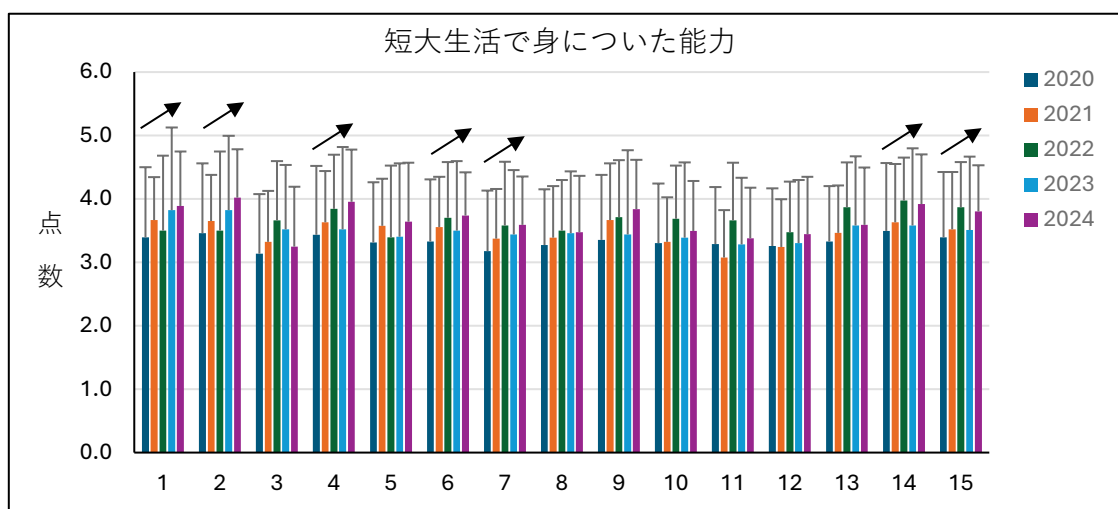
以上の結果から、学生は本学での学びを通して一定の汎用的能力を身につけ、教育内容に対して総じて肯定的な評価を示していることが明らかとなった。今後は、学生がより高い専門性と実践力を修得できるよう、教育プログラムの継続的改善に取り組む必要がある。

### 1. 15種類のジェネリックスキル（汎用的能力）について

2020~2024年度までの5年間にわたり、15種類のジェネリックスキル（汎用的能力）の各年次の平均値の傾向を Linear-by-Linear Association 検定で評価した。回答は、「持っていない・まったく思わない：1点」、「あまり持っていない・あまり思わない：2点」、「どちらともいえない：3点」、「持っている・思う：4点」、「十分持っている・強く思う：5点」とした。

## 1) 短大生活で身についた能力 (図1)

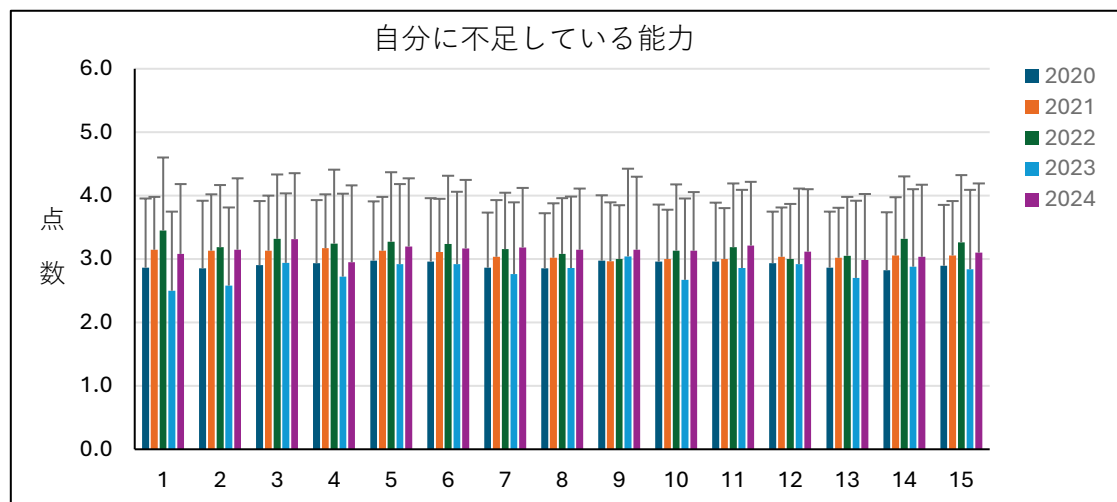
各年次の平均値を図1に示した。数値が高いほど、ジェネリックスキル短大生活で身についたと考えていることになる。①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕、②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕、④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕、⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕、⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕、⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕は、有意に増加傾向が見られた。



- |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕           | ⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕     |
| ②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕      | ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕    |
| ③目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕     | ⑪データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕     |
| ④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕    | ⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕      |
| ⑤やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕          | ⑬独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕     |
| ⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕   | ⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕        |
| ⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕 | ⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕 |
| ⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕   |                                    |

図1 2020～2024年度の短大生活で身についたジェネリックスキル（汎用的能力）の変化

## 2) 自分に不足している能力

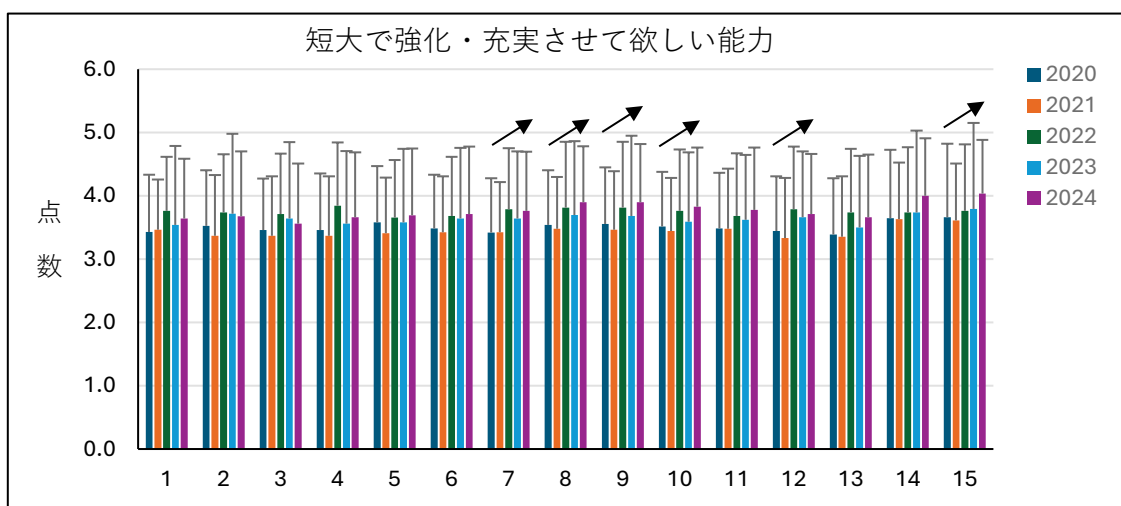


- ①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕
- ②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕
- ③目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕
- ④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕
- ⑤やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕
- ⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕
- ⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕
- ⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕
- ⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕
- ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕
- ⑪データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕
- ⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕
- ⑬独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕
- ⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕
- ⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕

図2 2020～2024年度の自分に不足しているジェネリックスキル（汎用的能力）の変化

自分に不足している能力については、図2で示した。点数が高いほど、学生が自分に不足していると感じている。どの項目でも、有意な傾向が見られなかった。

### 3) 短大で強化・充実させて欲しい能力

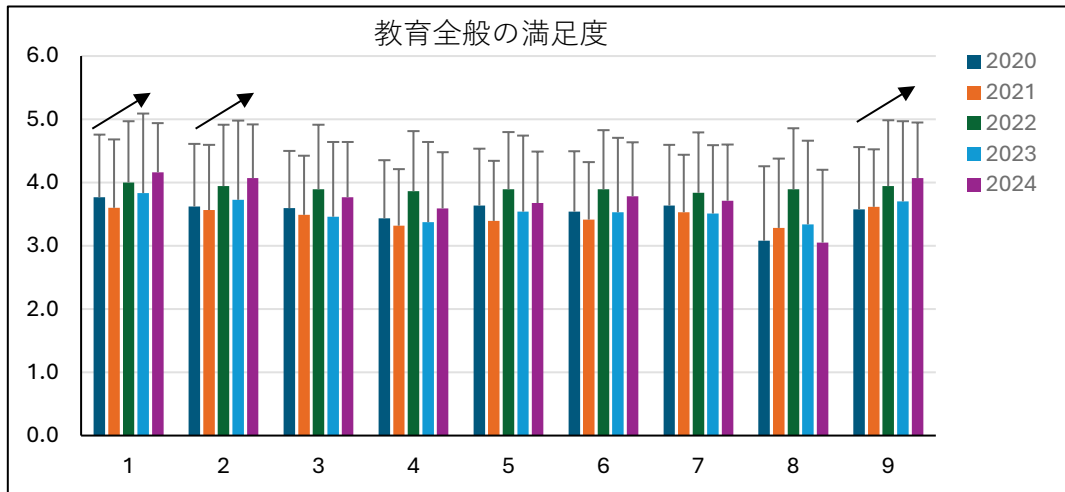


- ①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕
- ②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕
- ③目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕
- ④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕
- ⑤やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕
- ⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕
- ⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕
- ⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕
- ⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕
- ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕
- ⑪データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕
- ⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕
- ⑬独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕
- ⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕
- ⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕

図3 2021～2024年度の短大で強化・充実させてほしいジェネリックスキル（汎用的能力）の変化

短大で強化・充実させてほしい能力については、図3に示した。⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕、⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕、⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕、⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕、⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕、⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕は、有意に増加傾向が見られた。

## 2. 本学での教育全般の満足度



- ① 専門領域における知識面での教育は適切であった。
- ② 専門領域における技術面での教育は適切であった。
- ③ 一般常識や教養が身についた。
- ④ 人間性の面で適切な教育がなされていた。
- ⑤ 自己（健康・体調）管理についての教育が適切になされていた。
- ⑥ コミュニケーション教育が適切になされていた。
- ⑦ 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。
- ⑧ 学修ポートフォリオは、あなたにとって有意義なものでしたか。
- ⑨ 短期大学での教育は、総合的に満足であった。

図4 2021～2024年度の本学での教育全般の満足度の変化

各質問事項の回答を「まったく思わない：1点」、「あまり思わない：2点」、「どちらともいえない：3点」、「思う：4点」、「強く思う：5点」とした。

教育全般の満足度の平均値は、3.1～4.0と概ね満足していることが分かった。平均点は、どの年度でも有意差は認められなかった。